

平成 23 年度は、歴代陸海軍大臣の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物の関連史料を紹介しています。

《 <sup>やまなし</sup>山梨 <sup>はんぞう</sup>半造 1864～1944年 《

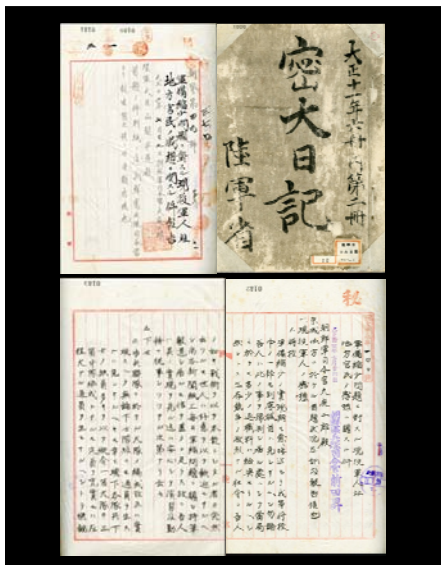
一師団参謀長として青島攻略戦を戦い、陸相として軍備整理に臨んだ将軍一



大正 3 年戦役意見書

(登録番号：陸軍省一日独戦役-T3-15-48)

山梨半造大將は、明治 19 年 6 月、陸軍少尉に任官、その後、歩兵第 30 旅団長及び歩兵第 1 旅団長、参謀本部総務部長、陸軍次官、陸軍大臣、軍事参議官等の要職を歴任しました。この史料は、独立第 18 師団が青島攻略戦（対独戦）の後、陸軍省に提出した大正 4 年 3 月 15 日付「大正三年戦役意見書 航空隊」です。攻略戦の際、同師団の参謀長であった山梨少将（当時）名で「大正三年戦役ニ関スル意見書左記隊ノ分及提出候也」と記述された文書が添付されています。青島攻略戦では日本陸海軍の飛行機が初めて戦闘に参加しました。同意見書には飛行機に関する様々な改善意見が記述されています。



軍備縮小問題に対する現役軍人並地方官民の感想に関する件 (登録番号：陸軍省一密大日記-T11-1-12)

山梨大將は大正 10 年 6 月から大正 12 年 9 月までの間、陸軍大臣として勤務しました。この史料は朝鮮軍司令官大庭二郎大將から陸軍大臣宛に提出された大正 11 年 7 月 27 日付「軍備縮小問題ニ對スル現役軍人並地方官民ノ感想ニ関スル件報告」です。同報告の現役軍人（将校）の項には「軍備縮少ノ實現期モ愈々接近セリ・・・生存競争ノ激烈ナル社會ニ吾人ノ如キ戰術ヲ以テ本能トシタル者カ突然出ツルモ世人ハ好意ヲ以テ歡迎セサルヘシ」との感想が記載されています。大正 11 年から同 12 年にかけての軍備整理、いわゆる山梨軍縮では、部隊の廃止、改編等によって多くの軍人が現役を離れることになりました。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「お知らせ」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断引用はお断りします。  
防衛研究所企画部企画調整課  
専用線：8-67-6522、6588（史料紹介コーナーのみ6668）  
外線：03-3713-5912  
FAX：03-3713-6149 E-mail：nidsnews@nids.go.jp  
※ 防衛研究所ウェブサイト：http://www.nids.go.jp